

平成 29 度 第 2 回定例理事会抄録

日時：平成 29 年 5 月 20 日（土）13：00～17：07

場所：一般社団法人日本作業療法士協会事務所 10 階会議室

出席：中村（会長）、荻原、香山、土井（副会長）、
 莉山、小林、陣内、藤井、三澤（常務理事）、
 大庭、小川、川本、佐藤（孝）、清水（兼）、清水（順）、高島、谷、宮口（理事）、
 古川、長尾、早川（監事）

陪席：西出、早坂、小賀野、佐藤（大）、伊藤（委員長）、
 佐藤（善）（教育部 WFOT 教育班）、岡本（財務担当）、宮井、遠藤（事務局）

I 報告事項

1. 教育部事業の総括報告（陣内理事・教育部長、佐藤（善）教育部 WFOT 教育班、早坂研修運営委員長、西出生涯教育委員長）
2. 議事録の確認
 - 1) 平成 29 年度第 1 回定例理事会議事録（土井副会長） 書面報告。
 - 2) 平成 29 年度第 1 回定例常務理事会議事録（土井副会長） 書面報告。
3. 平成 29 年度定時社員総会の議事運営について（佐藤（大）総会議事運営委員長） 書面確認。
4. 平成 29（2017）年度事業評価表について（荻原事務局長） 第 1 回理事会以降、特段の修正はなかったので、2017 年度の事業評価を確定した。
5. 前回インターネット投票時の投票不能事例について（伊藤選挙管理委員長） 書面確認。
6. 2020 年東京パラリンピックへの協力に向けた体制整備について（中村会長） 来年度の特設委員会で対応する。
 三澤常務理事：JP-NET 事務局からも今後情報提供する。
7. 副部長の複数部署兼任について（中村会長） 基本的に兼任を避けた組織づくりをする。
8. 47 都道府県委員会平成 30 年度の「モデル事業」「委員会で取り組む事項」の選定作業経過報告（川本理事） 47 委員会のモデル事業を、人材育成、組織強化の促進に集約

し、活動していく。

9. 会長及び業務執行理事の平成 29 年 4 月期活動報告（土井副会長） 書面報告。
10. 協会各部署の平成 29 年 4 月期活動報告（土井副会長） 書面報告。
11. 渉外活動報告書（土井副会長） 書面報告。
12. 日本作業療法士連盟の動き（土井副会長） 書面報告。
13. 訪問リハビリテーション振興財団の動き（土井副会長） 書面報告。

谷理事：宮城県庁が、新年度の挨拶で気仙沼の介護保険事業所を視察に来られた。

14. その他

小川理事：協会協賛の映画「八重子のハミング」が 5 月 6 日から全国ロードショーで上映されている。また、京都で開催されたアルツハイマーデーに参加して、広報のあり方を考える必要があると感じた。

香山副会長：福利厚生委員会で検討の結果、託児所は 29 年度を試行期間として、子ども 1 人当たり 1 日 1,000 円の負担金を徴収する。

II 審議事項

1. 会員の入退会について（荻原事務局長） →承認
2. 追加選任する委員長候補（平成 29 年度・30 年度）について（中村会長） →承認
3. 事務局職員の採用について（荻原事務局長） →承認
4. 選挙の管理・運営に関する手引き（改定案）について（荻原事務局長） →承認
5. 役員候補者選挙制度の廃止について（中村会長） 賛成者挙手多数で廃止が決定した。
谷理事：代議員の責務を言ったほうがいいのではないかと。中村会長：機関誌等で伝えることをさらに強化する。
6. 次期中期計画関係項目立案までの工程表について（プロジェクトチームの設置を含む）
（荻原事務局長、小賀野企画調整委員長）
次期中期計画関係項目は 10 月の理事会承認を目指す。 →承認
下半期答申の項目も早めに提出し、反映させる。 →承認
次期計画の形式は従来の 5 カ年戦略どおりとする。 →承認
次期中期計画の名称は「第三次 5 カ年戦略（仮称）」とする。 →承認
7. 学術誌「作業療法」第 35 巻の論文表彰候補の推薦について（小林常務理事・学術部長）
最優秀論文賞 1 本、奨励賞 3 本を推薦する。 →承認

8. 研修会講師等の旅行手配等の業務委託について（宮井事務長） 謝金規程細則が変わったことにより講師料受取額にそごが生じないようにするため、平成 29 年度は日新航空サービス株式会社に旅行手配業務を委託する。 →承認
9. 作業療法全国研修会の委託業者の選定について（陣内常務理事・教育部長） コンペに応募した業者を書類審査し、2 社に絞った上で、事前評価、プレゼンテーション評価等を行った。審議と挙手採決の結果、東武トップツアーズ株式会社を委託業者とすることに決定した。
10. 平成 29 年度第 1 回認定作業療法士認定及び更新審査の結果について（陣内常務理事・教育部長） 新規 21 人、更新 16 人の申請を全員可とした。 →承認
11. 平成 29 年度第 1 回臨床実習審査の結果について（陣内常務理事・教育部長） 修了認定申請のあった 44 件の全員と、施設認定申請のあった全 5 件を可とした。 →承認
12. 「日本作業療法士協会作業療法臨床実習指針（Ver.7 案）」について（陣内常務理事・教育部長） 表現の完成していない部分を理事が確認するという条件つきで、承認。
13. 日本理学療法士協会による精神科身体専門療法（仮称）の新設の要望について（荻原事務局長、荻山常務理事） 内容が十分練られておらず、時期尚早であるという意見、精神科の現状を踏まえた上での提案をするべきだという意見、お互いの専門性を提示して協力していくという提案をしてはどうかといった意見が出され、リハビリテーション専門職団体協議会の名で要望を出すことは、承認されなかった。
14. その他（土井副会長） 社員総会における役員選挙で、理事会から理事を推薦することになる場合の人選と調整は、三役会に一任する。 →承認。

5 月 17 日に自民党の厚労部会が開かれ、中村会長が出席した。

小林常務理事、清水（順）理事、土井副会長、早川監事が退任の挨拶をした。

以上